

目標3 「2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現」



一人に一台一生寄り添うスマートロボット

プロジェクトマネージャー (PM)

菅野 重樹 (早稲田大学 理工学術院 教授)

代表機関：早稲田大学

研究開発機関：国立精神・神経医療研究センター、産業技術総合研究所、東京女子医科大学、東京大学、東京電機大学、名城大学、早稲田大学



研究開発プロジェクト概要

柔軟な機械ハードウェアと多様な仕事を学習できる独自のAIとを組み合わせたロボット進化技術を確立します。それにより2050年には、家事、接客はもとより、人材不足が迫る福祉、医療などの現場で、人と一緒に活動できる汎用型AIロボットの実現により、人・ロボット共生社会を実現します。

